

新たな歴史のスタート

2023年(令和5年)4月1日、高浜中学校長に着任をし、今年度で2年目を迎えることとなりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

開校51年目を迎える今年度は、これまでとは大きく変わることが次のとおり三つありますので、新たな歴史のスタートとなる年に相応しい充実した一年となるようにします。

一つ目は、隣接する高砂小、浜見小、高浜中の3校による統合型学校運営協議会として、高浜地区学校運営協議会を発足し、“コミュニティ・スクール”としてスタートします。運営協議会を構成する方々は、これまでも地域の子どもの健全育成を見守ってきていただいた地域の皆様、学識経験者、行政、保護者代表の皆様、それぞれの学校職員です。今後は、委員の皆様から様々なご意見、ご協力をいただきながら、学校運営を行っていくこととなります。

特に高浜地区は、3校の統合型での学校運営協議会であるため、小・中9年間を通して地域の児童生徒たちの成長を見守り、支えていくこととなります。これまで以上に、高砂小、浜見小や地域の皆様との連携や交流が活性化され、本校の教育活動において様々な形での取り組みが行われることとなります。

二つ目は、昨年度までのPTA組織を発展的に解散し、今年度より保護者の皆様によってボランティア組織を立ち上げていただき“高浜サポーターズ”としてスタートすることとなりました。学校行事等の教育活動や生徒たちの登下校時の見守りなど様々な場面でサポートをしていただきます。

学校にとって、また、保護者の皆様にとっても、これまで以上に学校職員や生徒たちとの関わりを持っていただく機会が増えることで、学校と家庭との連携が密になり、生徒一人ひとりに寄り添った指導や支援にも繋げられるような取組を行っていきます。

三つ目は、昨年度の後期から始めた“はまかぜルーム”をより充実させて今年度も開室をします。登校することに悩みを持つ生徒のために、隣接する市民センターの一室を借用し、毎週火・木曜日に支援員を配置して開室します。

来室した生徒には、安心して登校することができるためのサポート、学習への支援など一人ひとりに合わせて、リラックスした雰囲気でも過ごしてもらえよう行っていきます。

そして生徒には、自ら考え、判断し、行動する力を身につけてほしいと考えています。そのためには、全ての学校生活において主体的に取り組むことが必要となります。そこで、学校生活のルールについては、自分たちの意見を出し合い、自分たちのためのルール作りをしたり、学校行事の企画や運営についても、生徒を中心とした実行委員会をさらに活性化させて、生徒たちの手で作り上げる行事となるよう取り組んでほしいと考えています。そのためのサポートを保護者や地域の皆様をお願いをし、教職員も全力で指導や支援をしていきます。

今年度も生徒たちを温かい気持ちで見守り、支え、育てていただくために、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2024年(令和6年)4月

高浜中学校長 池田 裕